

Q227-001

会場: 301B

時間: 5月23日 13:45-14:00

## GPR を用いた表層地質のイメージング：現状と課題

### GPR imaging for shallow underground geology: their present state and problems

# 七山 太 [1]; 村上文敏 [2]; 高倉 伸一 [3]; 宮田 隆夫 [4]

# Futoshi Nanayama[1]; Fumitoshi Murakami[2]; Shinichi Takakura[3]; Takao Miyata[4]

[1] 産総研・地質; [2] 産総研・地質情報; [3] 産総研; [4] 神戸大・理・地球惑星

[1] GSJ/AIST; [2] AIST,IGG; [3] AIST; [4] Earth and Planetary, Sci.,Kobe Univ.

<http://staff.aist.go.jp/nanayama-f/>

地中レーダー（GPR）は、電磁波を地中に放射し、電気物性の異なる物体で反射・屈折する波を捉えて、浅層地下をイメージングする高分解能の物理探査法であり、最近では沖積層や第四紀層の地質調査や活断層調査等にも広く活用されている。本公演においては、GPR を用いた第四紀層研究に関する最近の研究をレビューし、その現状と今後の課題についての整理を行う。